

平成22年度全国学力・学習状況調査 分析

6年生国語

<分析結果>

国語A（知識）

○「読むこと」では県平均より上回っており、書かれていることを読み取ることはよくできていると思われます。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語事項」においては県平均をやや下回っています。

<具体的な課題>

- 「話すこと・聞くこと」・・・工場見学について説明している文章を読んで、見学したことの説明の工夫として適切なものを選択する問題でした。人前で話をする際、聞き手が理解しやすいように工夫する経験や順序立てて話をする経験が少ないため、効果的な話し方の工夫が理解できていませんでした。
- 「書くこと」・・・文と文との意味のつながりを理解して、一つの文にまとめる問題でした。意味は理解できているにもかかわらず、正確に記述することができていませんでした。
- 「言語事項」・・・漢字の書き取りの問題や国語辞典を利用して文脈に適した意味を選択する問題、共通語と方言の使われ方を理解する問題ができていませんでした。

国語B（活用）

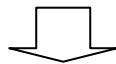
○「読むこと」「言語事項」では県平均を上回っていますが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」においては、県平均を下回っており、課題です。

<具体的な課題>

- 「話すこと・聞くこと」・・・発表の中で写真を示す場面として適切な箇所を選択する問題が特にできていませんでした。伝えたいことを資料と関係づけ、資料を効果的に提示して話す経験が生かされていないと考えられます。
- 「書くこと」・・・学校新聞に対する二つの意見の共通点を見つけて書く問題ができていませんでした。

<課題把握及び今後の指導方法改善策>

◎課題は「話すこと・聞くこと」にあります。国語や総合的な学習を中心に他教科でも、調べて分かったことと資料を関連づけて説明する経験をしています。しかし、問題を解く際には、その経験が十分生かされていないようです。



- 経験したことを振り返らせながら問題を解かせたり、効果的な発表の仕方を意識させたりして、「話すこと・聞くこと」の力を養っていきます。
- スピーチをする場を設定し、ただ話すだけでなく、より分かりやすく伝えるための表現の工夫や話し方の工夫について身につけさせていきます。

6年生算数

<分析結果>

算数A（知識）

○総合的に見て、正答率は県とほぼ同程度です。「数量関係」では県平均を少し上回っていますが、「数と計算」「量と測定」「図形」においては県平均をやや下回っています。

<具体的な課題>

- 「数と計算」・・・基本的な四則計算（ $+$ $-$ \times \div ）の問題では、学習した時には習得したと思われていますが、確かな力となっていないようです。また、分数や小数の入った問題では特に計算ミスが目立ちました。
- 「量と測定」・・・三角定規を使って角度を求める問題では、特によくできていました。しかし、台形や図形を変形させた面積を求める問題では公式の活用ができていませんでした。
- 「図形」・・・展開図を見ながら構成する問題や方眼紙上で3点が与えられた平行四辺形の残りの1点を選ぶ問題ができていませんでした。

算数B（活用）

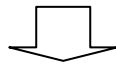
○総合的に見て、正答率は県平均をやや下回っています。「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」どの領域も課題です。

<具体的な課題>

- 「数量関係」・・・3つの円グラフの中から目的に合うものを選び、必要な情報を読み取る問題ができていませんでした。また、計算の順序についての決まりを理解し、与えられた式に（ ）を加えて正しく修正する問題ができていませんでした。
- 「図形」・・・示された立体図形と平面図形を相互に対応させて考えることができていませんでした。また、「バスのドアの下にできる三角形」を求める問題では、与えられた条件を基に図形を判断し、その名前と理由を選択することができていませんでした。

<課題把握及び今後の指導方法改善策>

◎確実な計算力や問題をしっかり読み取る力が必要です。与えられた情報の中から必要なものを選んだり、それをうまく活用したりする力をつけていくことが必要です。



- 学習した時だけでなく、つまづき傾向にある計算問題については繰り返し練習する機会を設け、技能の定着を図っていきます。
- 求められていることや分かっていることを整理し、筋道を立てて考えていく活動を通して、活用問題に慣れさせていきます。
- 分かったことを自分の言葉で説明しながら、考えをまとめていく力をつけていきます。

